



marantz®

取扱説明書

**D/Aコンバーター
HD-DAC1**

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露(つゆつき)について	4
付属品	5
リモコンについて	6
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
本機の特長	7
高音質	7
多彩な機能	7
各部の名前	9
フロントパネル	9
ディスプレイ	11
リアパネル	12
リモコン	13

接続のしかた

アンプを接続する	17
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	18
パソコンと接続する	19
スマートフォンやポータブルプレーヤーを接続する	20
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	21
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	23
接続	23
設定	23
電源コードを接続する	24

再生のしかた

基本操作	26
電源を入れる	26
入力ソースを選ぶ	27
音量を調節する	27
一時的に音を消す(ミュートイング)	27
ディスプレイの明るさを切り替える	28
D/A コンバーター機能で再生する	29
パソコンと接続して再生する(USB-DAC)	30
デジタル機器と接続して再生する(COAX/OPT1/ OPT2)	38
iPod の再生	39
iPod を再生する	40
iPod の操作モードを設定する(Remote iPod モード)	41
リピート再生をする	42
ランダム再生をする	42
iPod の充電	42
USB メモリーを再生する	43
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	44
リピート再生をする	46
ランダム再生をする	46
AUX 端子に接続した機器を再生する	47

設定のしかた

メニュー 一覧	48
メニューの操作のしかた	49
AMP Gain	50
Dimmer	50
iPodMode	50
AutoStby	51

困ったときは

目次	52
こんなときの解決方法	53
故障かな?と思ったら	54
保証と修理について	60

付録

USB メモリーの再生について	62
ファイルの再生順番について	63
フォルダとファイルについて	64
メディアの取り扱いについて	64
D/A コンバーターについて	65
用語の解説	66
登録商標について	68
主な仕様	69
索引	72

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところへ移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット


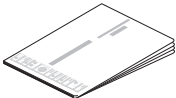
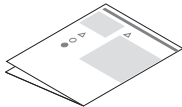
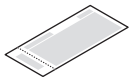

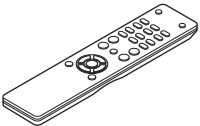

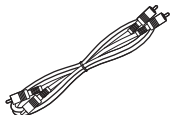
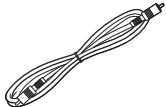
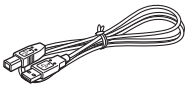


- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用前にご確認ください。

 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 保証書
 電源コード【本機専用】	 リモコン(RC001HD)	 単4形乾電池(2本)	 音声ケーブル
 リモートコントロール接続ケーブル	 USB ケーブル		

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

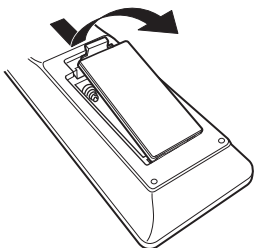
困ったときは

付録

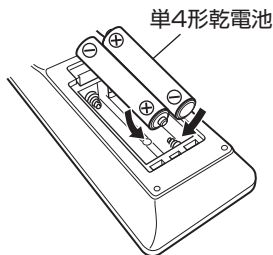
リモコンについて

乾電池の入れかた

① 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



② 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



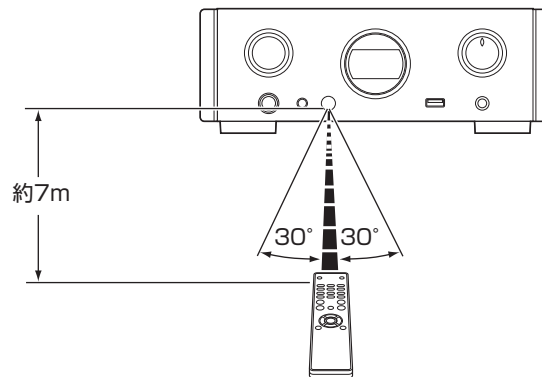
③ 裏ぶたを元のとおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてご使用ください。



本機の特長

高音質

- **大容量ブロックコンデンサ**
回路には音質検討を重ねたオーディオ用 3,300 μ F 大容量コンデンサを搭載しています。
- **高音質フィルムコンデンサ、電解コンデンサ**
本機では、上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。
- **ディファレンシャル入力の HDAM によるローノイズアンプと高速 HDAM[®]SA2 送り出しアンプによる低歪フィルター回路搭載**
- **ダブル・レイヤード・シャーシ**
- **高級削り出しアナログ・オーディオ出力端子を搭載**
- **高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**
上級モデルのデザインコンセプトを踏襲し、HDAM[®]SA2 を使用した電流帰還型ボルテージアンプと、無帰還型のダーリントンのパワーバッファによる 2 アンプ構成としました。

多彩な機能

- **ハイレゾリューション音源の再生に対応した USB-DAC 機能を搭載**
高解像度のオーディオフォーマットである DSD (2.8/5.6MHz) や 192kHz/24 ビットまでの PCM ファイルの再生に対応しています。高解像度ファイルの高音質再生を実現しています。
- **デジタル音声入力端子(COAXIAL/OPTICAL)を搭載**
外部機器からデジタル音声信号を本機に入力することにより、192kHz/24 ビットまでの PCM 信号を再生できます。
- **USB メモリー(MP3/WMA/AAC/WAV)や iPod[®]/iPhone[®]の再生に対応**
USB メモリーまたは iPod/iPhone を USB 端子に接続することにより、USB メモリーや iPod/iPhone に保存した音楽ファイルを再生できます。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

- **音声出力信号の影響を抑える周辺回路のオフ機能**

本機から出力するアナログ音声信号に周辺回路からのノイズの流入を抑えるため、ディスプレイを消灯する機能を搭載しました。

- **可変音声出力端子を搭載**

通常の固定音声出力端子に加え、本機のボリュームに連動する可変音声出力端子を備えています。パワーアンプに接続して、音量の調節ができます。

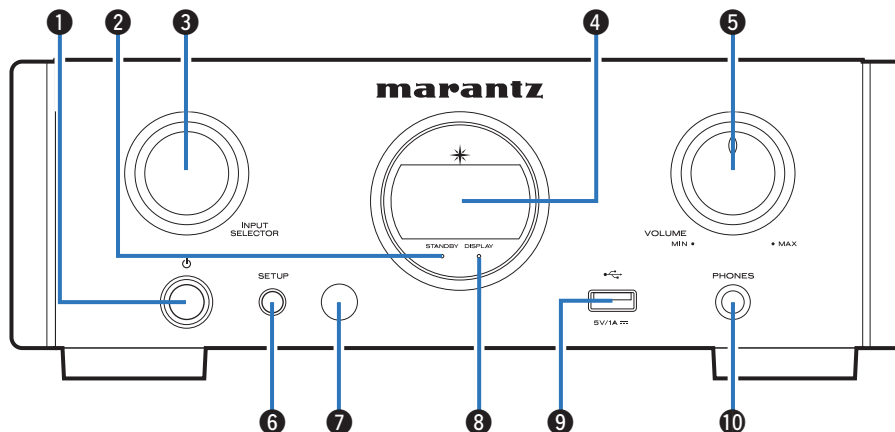
- **スタンバイモード時も iPod® を充電可能 (P.21 ページ)**

- **電力消費をおさえるオートスタンバイモードを搭載**

各部の名前

各部のはたらきなど詳しい説明については、()内のページをご覧ください。

フロントパネル



❶ 電源ボタン(⏻)

本機の電源をオン/オフ(スタンバイ)します。
([P.26](#) ページ)

❷ 電源表示(STANDBY)

本機の状態により次のように変わります。

- 電源オン時: 消灯
- 電源スタンバイ時: 赤色
- iPod の充電スタンバイ時: オレンジ色

❸ 入力ソース切り替えつまみ(INPUT SELECTOR)

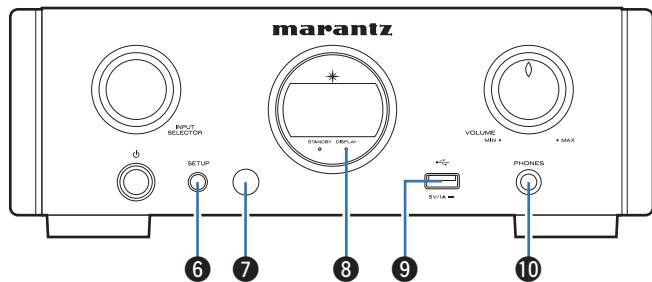
入力ソースを選択します。([P.27](#) ページ)

❹ ディスプレイ

再生状態や入力ソースなどを表示します。

❺ 音量調節つまみ(VOLUME)

ヘッドホンと音声出力端子(VARIABLE)の音量を調節します。
([P.27](#) ページ)



⑥ SETUP ボタン

本機の設定をおこないます。

⑦ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。

⑧ DISPLAY OFF 表示

ディスプレイが消灯しているときに点灯します。

([P.28 ページ](#))

⑨ USB 端子

iPod または USB メモリーを接続します。([P.21 ページ](#))

⑩ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。

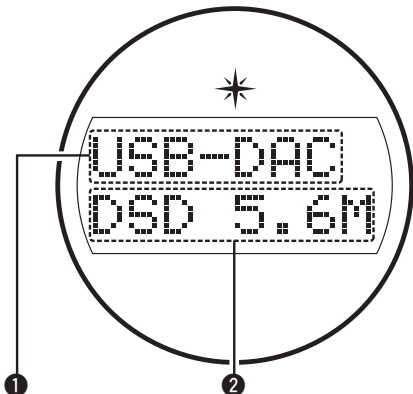
ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

ディスプレイ

入力ソース名、サンプリング周波数、設定値など、さまざまな情報を表示します。

■ D/A コンバーター表示



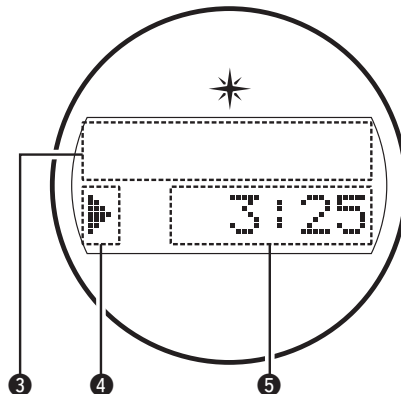
① 入力ソース表示

選択している入力ソース(USB-DAC/COAX/OPT1/OPT2)を表示します。

② サンプリング周波数表示

入力している音声信号のサンプリング周波数を表示します。

■ iPod/USB 再生表示



③ インフォメーションディスプレイ

曲情報などを表示します。

④ 再生モード表示

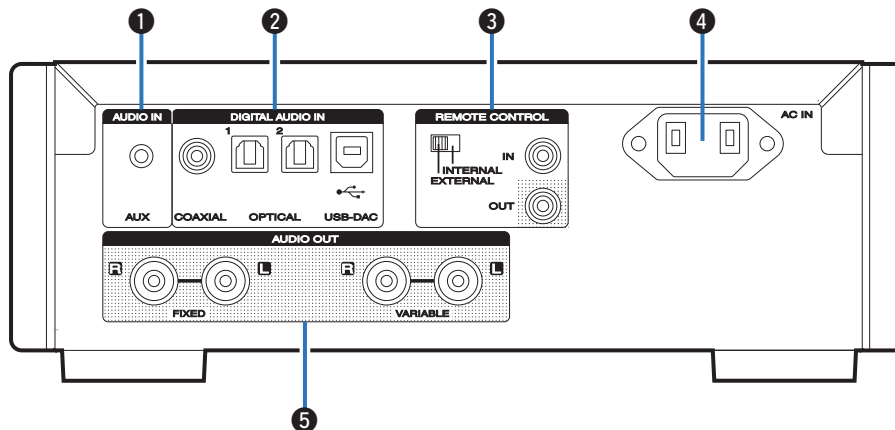
▶:再生中に表示します。

||:一時停止中に表示します。

⑤ 時間表示

再生曲の経過時間を表示します。

リアパネル



① AUX 入力端子

スマートフォンやポータブルプレーヤーを接続します。
([17 ページ](#))

② デジタル音声入力端子(DIGITAL INPUT)

デジタル音声出力端子付きの機器やパソコンを接続します。
([18 ページ](#))

③ リモートコントロール入出力端子 (REMOTE CONTROL IN/OUT)

リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続します。
([23 ページ](#))

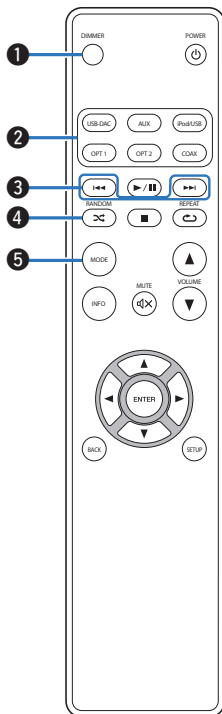
④ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。
([24 ページ](#))

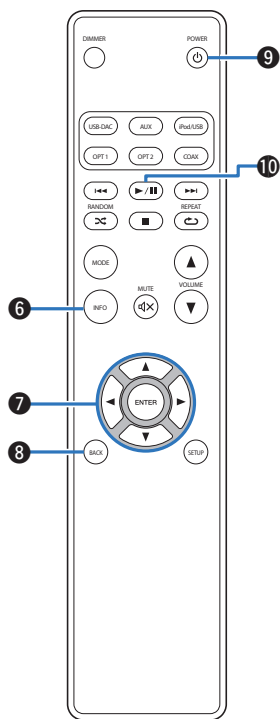
⑤ 音声出力端子(AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。
([17 ページ](#))

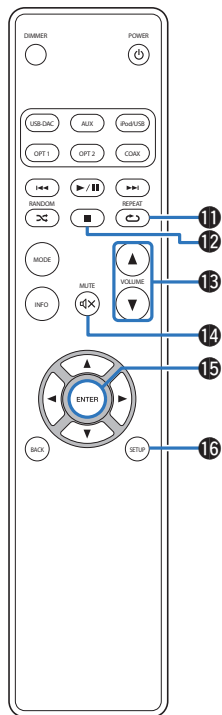
リモコン





- ① ディマーボタン(DIMMER)**
本機のディスプレイの明るさを調節します。(P.28 ページ)
- ② 入力ソース選択ボタン**
入力ソースを選択します。(P.27 ページ)
- ③ スキップボタン(◀▶▶▶)**
曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しまたは早送りします。(P.40、45 ページ)
- ④ ランダムボタン(RANDOM ⚡)**
ランダム再生をします。(P.42、46 ページ)
- ⑤ モードボタン(MODE)**
操作モードを切り替えます。(P.41、44 ページ)



- ⑥ **インフォメーションボタン(INFO)**
アルバム名やタイトル名などを表示します。(参照 40、45 ページ)
- ⑦ **カーソルボタン(△▽◀▶)**
項目を選択します。(参照 40、49 ページ)
- ⑧ **BACK ボタン**
前の項目に戻ります。(参照 49 ページ)
- ⑨ **電源操作ボタン(POWER ㊦)**
電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(参照 26 ページ)
- ⑩ **プレイ/ポーズボタン(▶/⏸)**
曲を再生または一時停止します。(参照 40、45 ページ)



- ⑪ **リピートボタン(REPEAT )**
リピート再生をします。(参照 42、46 ページ)
- ⑫ **ストップボタン(■)**
再生を停止します。(参照 40、45 ページ)
- ⑬ **音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)**
ヘッドホン出力と音声出力端子(VARIABLE)の音量を調節します。(参照 27 ページ)
- ⑭ **消音ボタン(MUTE )**
消音します。(参照 27 ページ)
- ⑮ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確認します。(参照 40、49 ページ)
- ⑯ **セットアップボタン(SETUP)**
ディスプレイに設定メニューを表示します。(参照 49 ページ)

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

接続のしかた

■ 目次







アンプを接続する	17
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	18
パソコンと接続する	19
スマートフォンやポータブルプレーヤーを接続する	20
USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する	21
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	23
電源コードを接続する	24

ご注意

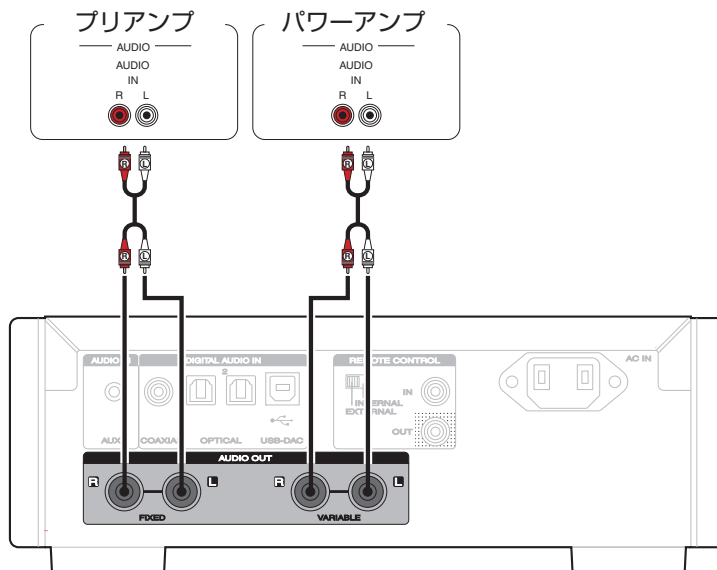
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

オーディオケーブル(付属)	
リモートコントロール接続ケーブル(付属)	
光伝送ケーブル(別売り)	
同軸デジタルケーブル(別売り)	
USB ケーブル(付属)	
ステレオミニプラグケーブル(別売り)	

アンプを接続する

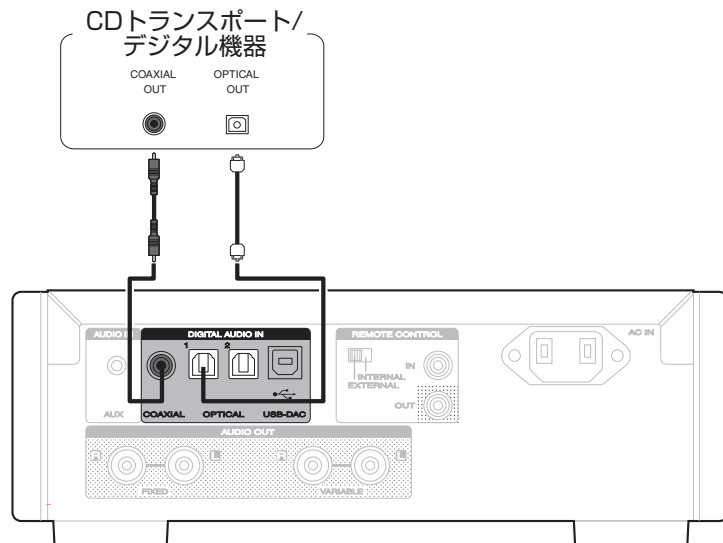


ご注意

FIXED 端子にはパワーアンプを接続しないでください。パワーアンプを接続すると、スピーカーが壊れる恐れがあります。

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生する接続です。(P.38 ページ)

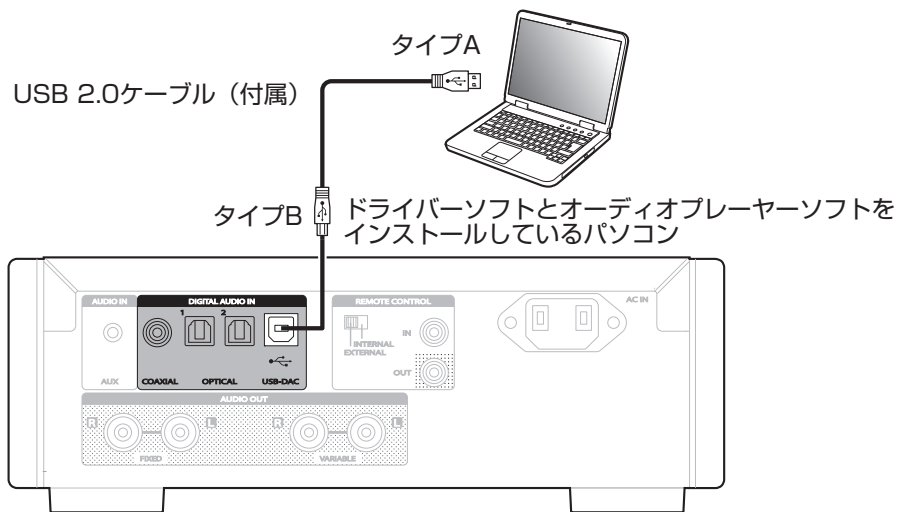


ご注意

- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。

パソコンと接続する

本機のリアパネルの USB 端子(USB-DAC)とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続すると、パソコンの音楽データを本機の D/A コンバーターで再生できます。(P.30 ページ)



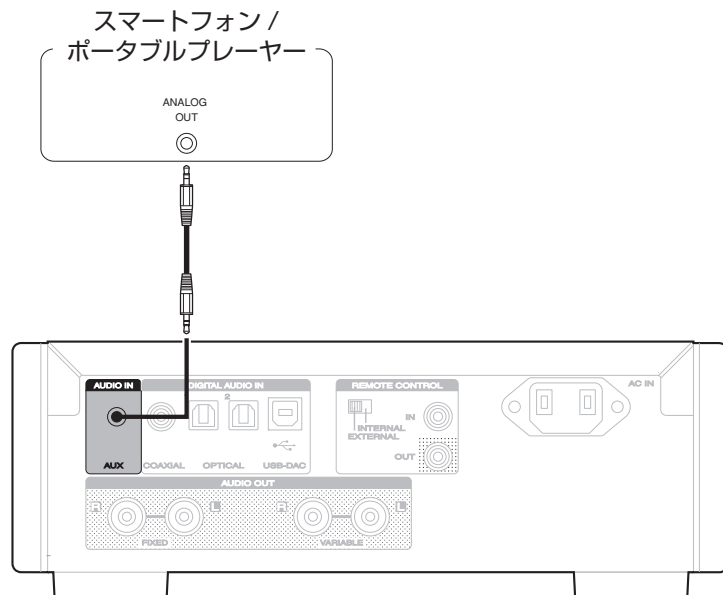
- ハイレゾリューション音源(DSD 信号や 192kHz / 24bit の PCM 信号)を再生するには、本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。(P.30 ページ)
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトの HD-DAC1 のページからダウンロードしてください。

ご注意

パソコンとの接続には、3m 以下のケーブルをご使用ください。

スマートフォンやポータブルプレーヤーを接続する

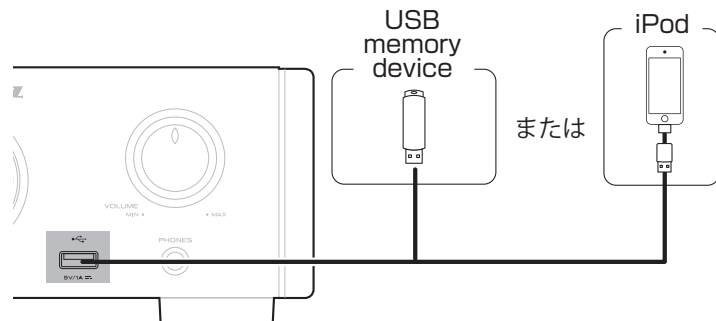
本機にアナログ音声信号を入力し、本機のアンプを通して再生する接続です。



USB 端子に iPod または USB メモリーを接続する

iPod/iPhone や USB メモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機と iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPod を再生する」(P.40 ページ)または「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(P.44 ページ)をご覧ください。



すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機のフロントパネルの USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、リアパネルのデジタル音声入力の USB-DAC 端子(タイプ B)と接続してください。
- USB メモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応している iPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 16GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



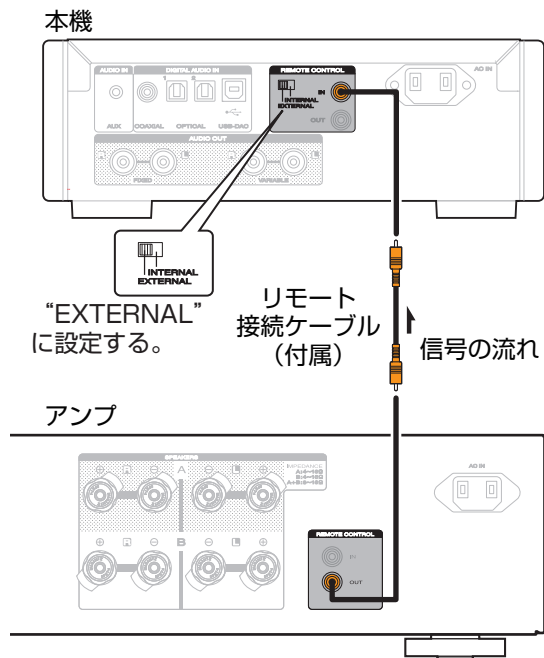
iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
iPhone 5c iPhone 5s
16GB 32GB 64GB

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。次の「接続」と「設定」をおこなってください。



接続

付属のリモートコントロール接続ケーブルで、本機の REMOTECONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

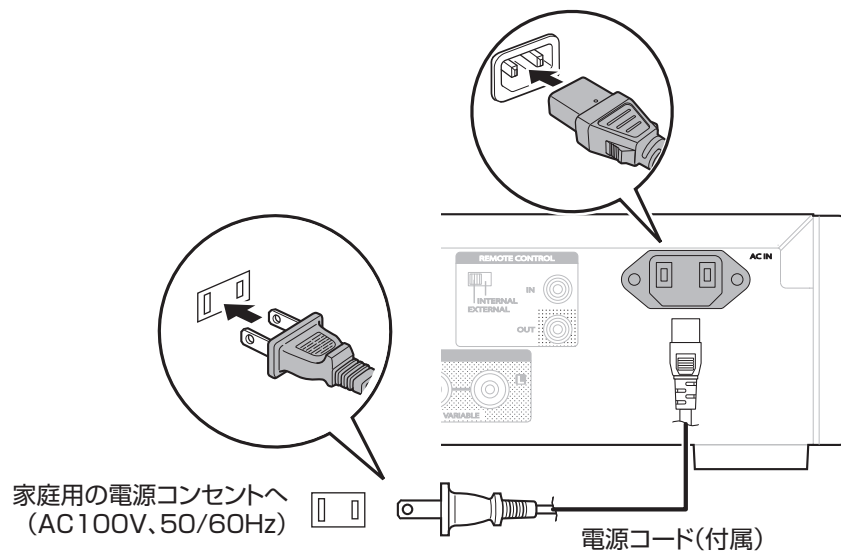
- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。



アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



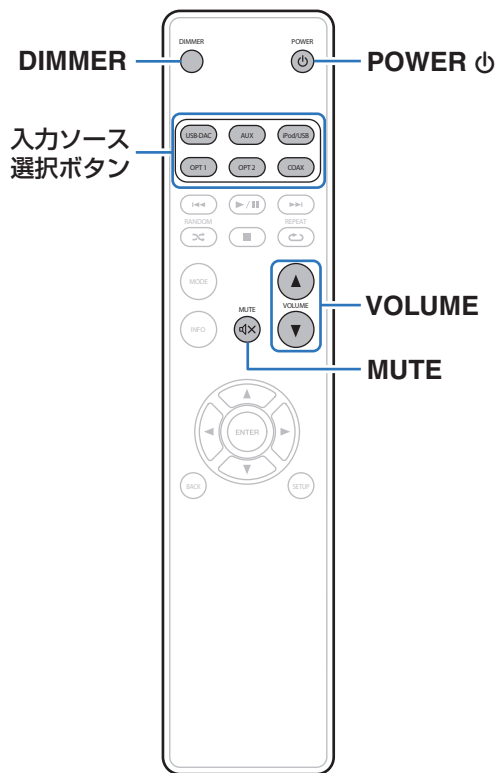
再生のしかた

■ 目次


電源を入れる	26	D/A コンバーター機能で再生する (USB-DAC)	29
入力ソースを選ぶ	27	iPod を再生する	39
音量を調節する	27	USB メモリーを再生する	43
一時的に音を消す (ミュート)	27	AUX 端子に接続した機器を再生する	47
ディスプレイの明るさを切り替える	28		

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

基本操作



電源を入れる

- 1 POWER  を押して、電源を入れる。
電源表示が消灯します。



本体の  を押しても電源を入れることができます。

■ 電源をスタンバイにする

- 1 POWER  を押す。
スタンバイ状態になります。

ご注意

電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。

USB-DAC:	パソコンの音楽ファイルを再生します。
COAX:	COAXIAL 端子に接続した機器を再生します。
OPT1:	OPTICAL 1 端子に接続した機器を再生します。
OPT2:	OPTICAL 2 端子に接続した機器を再生します。
iPod/USB:	iPod や USB メモリーを再生します。
AUX:	AUX 端子に入力したアナログ音声信号を再生します。



本体の INPUT SELECTOR を回しても、入力ソースを切り替えることができます。

音量を調節する

1 VOLUME ▲▼ を押して、音量を調節する。



本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。


一時的に音を消す(ミュート)

ヘッドホンと音声出力端子(VARIABLE)から出力される音声を消音します。

1 MUTE を押す。

ディスプレイに“MUTE ON”を表示します。



ミュートを解除するときは、もう一度 MUTE  を押してください。

ディスプレイの明るさを切り替える

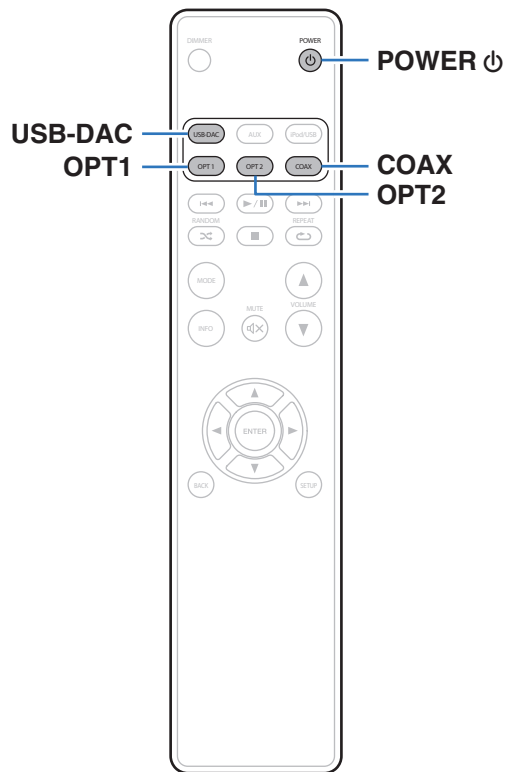
ディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。



- ディスプレイの明るさを消灯にすると、ディスプレイオフ表示が点灯します。
- 本体の設定メニューでディスプレイの明るさを切り替えることもできます。

D/A コンバーター機能で再生する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます。(D/A コンバーター機能)

- DSD は、登録商標です。
- Microsoft、Windows Vista、Windows 7 と Windows 8 は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する(USB-DAC)

パソコンに保存している PCM 信号や DSD 信号の音楽ファイルを USB 接続で本機に入力すると、本機に搭載している D/A コンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

- 本機とパソコンを USB 接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OS をご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能な好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン(推奨システム)

OS

- Windows® Vista、Windows 7 および Windows 8/8.1
- Mac OS X 10.6.3 以降

USB

- USB 2.0: USB High speed/USB Audio Class Ver. 2.0

Windows
OS

専用ドライバーソフトのインストール
([P.30](#) ページ)

Mac
OS

オーディオ装置の確認([P.36](#) ページ)

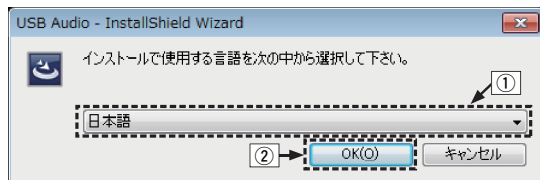
■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OS のみ)

□ パソコンへドライバーソフトをインストールする方法

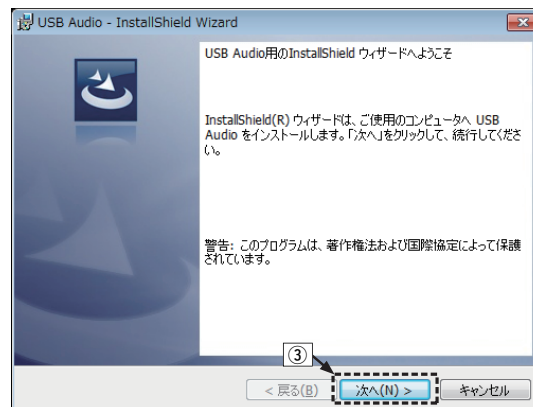
- 1 本機とパソコンの USB 接続を外す。
 - 本機とパソコンを USB 接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
 - パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機と USB 接続してパソコンを立ち上げた場合、USB 接続を外して、パソコンを再起動してください。
- 2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイト HD-DAC 1 のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。
- 3 ダウンロードファイルを解凍し、ご使用のパソコンの Windows OS に合わせて 32bit 版または 64bit 版の exe ファイルを選び、ダブルクリックする。

4 ドライバソフトをインストールする。

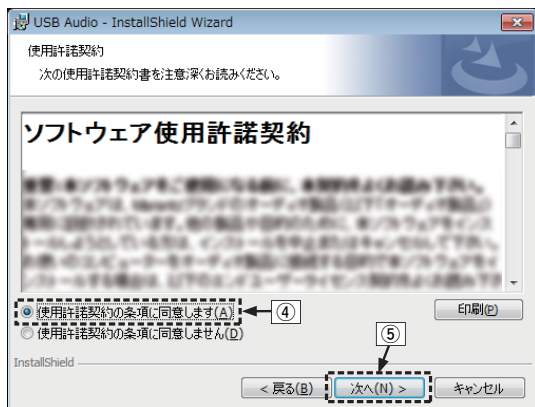
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK(O)” をクリックする。



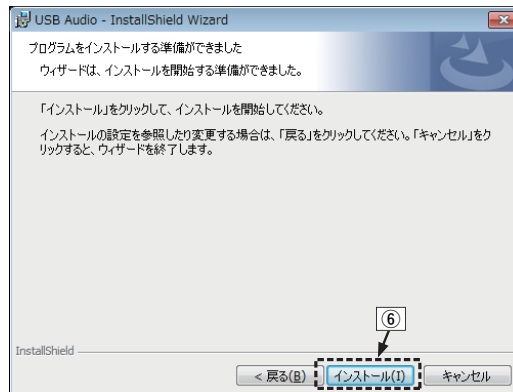
- ③ ウィザードメニューが表示されたら“次へ(N)” をクリックする。



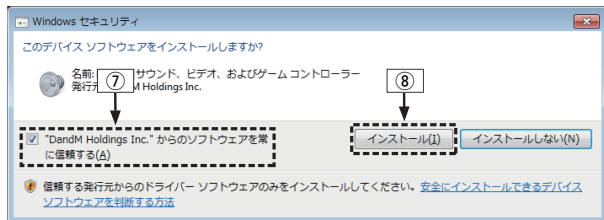
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約の条項に同意します(A)”を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)”をクリックする。



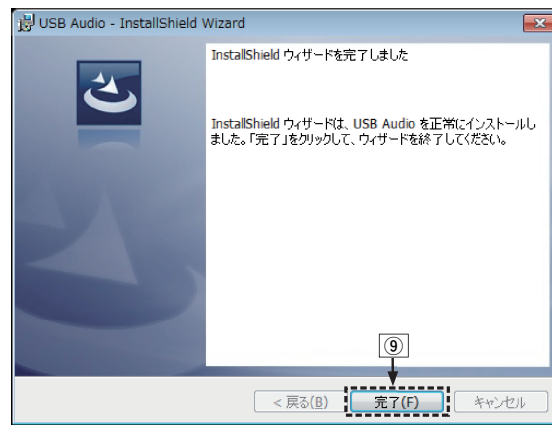
- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール(I)”をクリックする。
 - インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



- ⑦ Windows セキュリティダイアログの “DandM Holdings Inc.”からのソフトウェアを常に信頼する(A)”を選ぶ。
- ⑧ “インストール(I)” をクリックする。



- ⑨ インストール終了画面を表示したら “完了(F)” をクリックする。



- 5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンを USB ケーブル(付属)で接続する。
 - 接続のしかたは「パソコンと接続する」(19 ページ)をご覧ください。

6 POWER を押す。

- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。

7 USB-DAC を押して、入力ソースを“USB-DAC”にする。

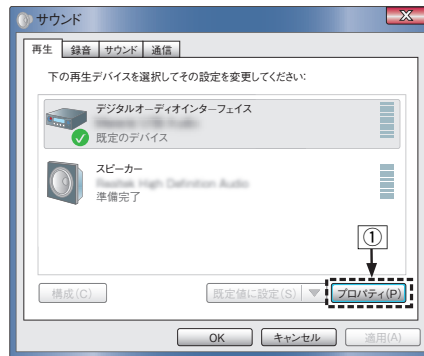
8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“デジタルオーディオインターフェース”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“Marantz USB Audio”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

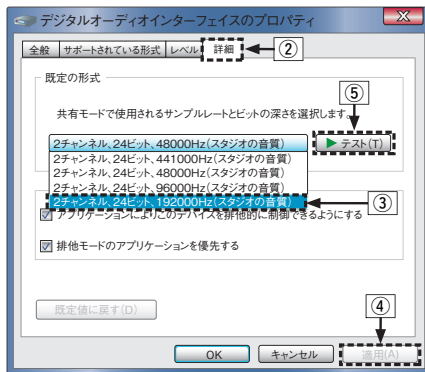
9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力して USB-DAC 機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“デジタルオーディオインターフェース”を選び、“プロパティ”をクリックする。
 - デジタルオーディオインターフェースのプロパティ画面を表示します。



- ② “詳細” タブをクリックする。
- ③ D/A 変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “2 チャンネル、24 ビット、192000 Hz(スタジオの音質)” に設定することをおすすめします。
- ④ “適用(A)” をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)” をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。

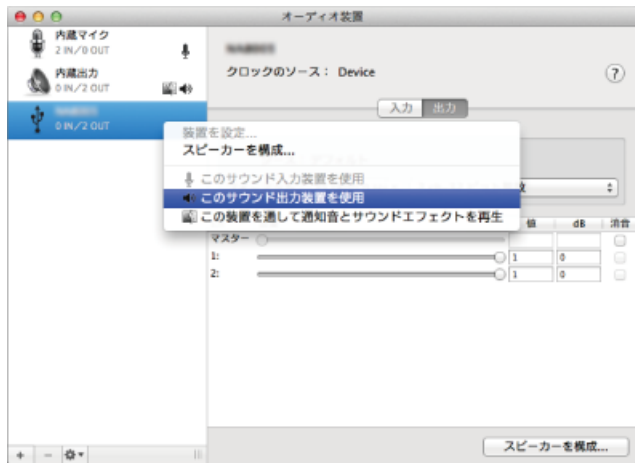


で注意

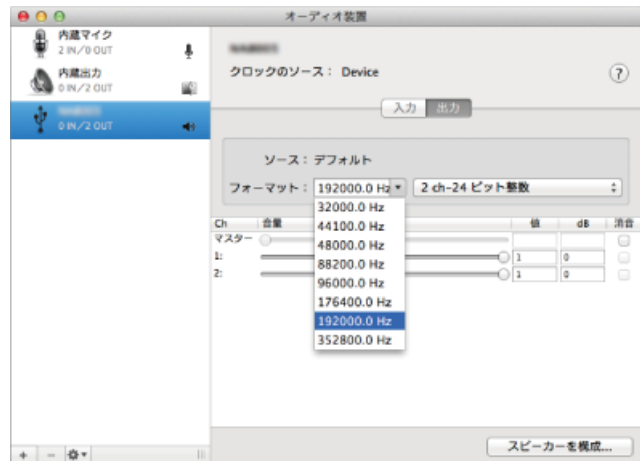
- 専用ドライバーはパソコンと本機を USB 接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。また、OS に Windows XP をご使用の場合、パソコンの動作が著しく遅くなり、パソコンの再起動が必要になる場合があります。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。

■ オーディオ装置の確認(Mac OS Xのみ)

- ① パソコン画面の“移動”にカーソルを合わせ、“ユーティリティ”をクリックする。
 - ユーティリティの一覧を表示します。
- ② “Audio MIDI 設定”をダブルクリックする。
 - “オーディオ装置”画面を表示します。
- ③ “HD-DAC1”に、このサウンド出力装置を使用のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“HD-DAC1”を選択してから副ボタンクリックして、“このサウンド出力装置を使用”を選択してください。



- ④ “HD-DAC1”のフォーマットを選択する。
 - “192000.0Hz”、“2ch-24ビット整数”に設定することをおすすめします。



- ⑤ “AudioMIDI 設定を終了”をクリックする。

デジタル機器と接続して再生する (COAX/OPT1/OPT2)

1 COAX、OPT1 または OPT2 を押して、入力ソースを“COAX”、“OPT1” または “OPT2” に切り替える。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“COAX
xxxxk” または “OPT1
xxxxk” または “OPT2
xxxxk”

(xxxx はサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。
- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。

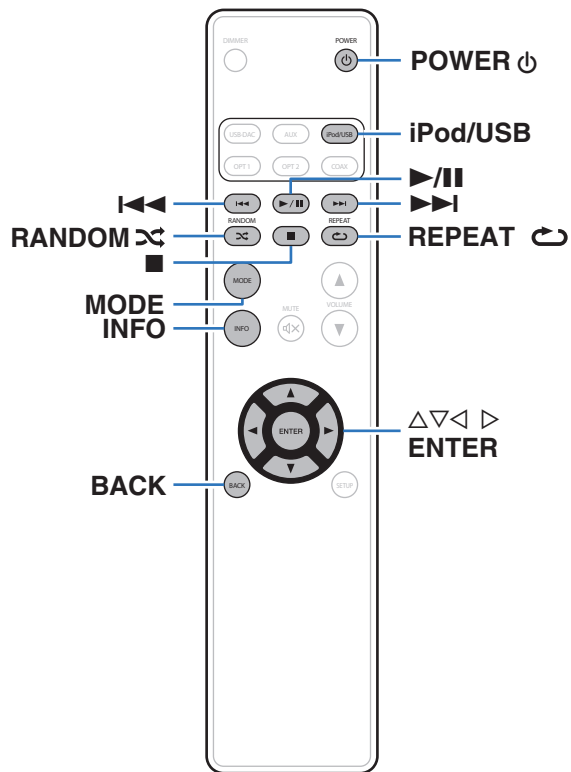
■ 再生できるファイルについて

「D/A コンバーターについて」([P.65 ページ](#))をご覧ください。

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS 放送の A モードから B モードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1～2 秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

iPod の再生



- iPod に付属している USB ケーブルを使用して iPod を本機の USB 端子に接続すると、iPod の音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できる iPod は、「対応している iPod/iPhone」(P.22 ページ)をご覧ください。

iPod を再生する

- 1 iPod/USB を押して、入力ソースを “iPod/USB” に切り替える。
- 2 iPod を USB 端子に接続する。(P.21 ページ)
本体のディスプレイに “Direct iPod” を表示します。
- 3 iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作して、音楽を再生する。



iPod の表示モードには、“Direct iPod” と “Remote iPod” があります。お買い上げ時の設定は、iPod の画面を見ながら直接 iPod 本体を操作する “Direct iPod” です。

ご注意

- 万一 iPod のデータを消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- iPod の種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

■ iPod 再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MODE	iPod 操作モードの設定 • “Direct iPod” と “Remote iPod” を切り替えます。
INFO	テキスト情報表示 • メディアに記録されているテキスト情報を表示します。
△ ▽ ◀ ▶	項目の選択
⏮ ⏭	スキップサーチ(頭出し)
⏮ ⏭ (長押し)	マニュアルサーチ(早戻し/早送り)
▶	再生/一時停止
■	停止
REPEAT ↺	リピート再生(P.42 ページ) • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
RANDOM ⌘	シャッフル再生(P.42 ページ)

iPod の操作モードを設定する (Remote iPod モード)

iPod の各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。

ここでは、“Remote iPod” で iPod 内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 MODE を押す。

本体のディスプレイに “Remote iPod” を表示します。

2 Δ▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押す。

再生をはじめます。

操作モード		Direct iPod	Remote iPod
再生できるファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できるボタン	本機のリモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- 曲名、アーティスト名、アルバム名および曲番を切り替えて表示します。

リピート再生をする

1 REPEAT を押す。

- 最初に現在のリピート再生モードをディスプレイに表示します。
- ボタンを押すたびに、リピート再生モードが切り替わりま

Repeat Off (リピートオフ):	リピート再生モードを解除します。
Repeat One (1 曲リピート):	再生中の曲をリピート再生します。
Repeat All (全曲リピート):	現在再生中のフォルダにあるすべての曲を リピート再生します。

ランダム再生をする

1 RANDOM を押す。

- 最初に現在のランダム再生モードをディスプレイに表示
- ボタンを押すたびに、ランダム再生モードが切り替わりま

Random Off (ランダムオフ):	ランダム再生モードを解除します。
Random On (ランダムオン):	現在再生中のフォルダ内にあるすべての曲 をランダム再生します。

iPod の充電

入カソースを“iPod/USB”に切り替えて USB 端子に接続すると、iPod や iPhone の充電ができます。

- iPod や iPhone を充電中に本機がスタンバイモードに入った場合、スタンバイ充電モードに切り替えて、iPod/iPhone を充電します。スタンバイ充電モードでは、電源表示がオレンジ色に点灯します。充電が完了すると、電源表示が赤色に変わって通常のスタンバイモードになります。

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 iPod/USB を押して、入カソースを “iPod/USB” に切り替える。
- 2 USB メモリーを本機の USB 端子に接続する。
([P.21 ページ](#))
- 3 “MODE” を押して、“Folder” または “All” を選ぶ。
 - ディスプレイ表示について
 - “Folder” を選んだとき
選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
 - “All” を選んだとき
選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。
- 4 Δ / ∇ を押して再生したいファイルまたはフォルダを選び、ENTER を押す。
- 5 Δ / ∇ を押してファイルを選び、ENTER を押す。
再生をはじめます。

■ レジューム機能

本機は再生を停止したときに、停止した位置を記録します。

- USB メモリーを取り外してから再び接続してもレジュームしますが、別の USB メモリーを接続すると以前の USB メモリーのレジューム情報は消去されます。
- USB メモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。
- レジューム情報を消去するには、停止中に **■** を押してください。“Resume Off” を表示します。

ご注意

- USB メモリーの通信表示が点滅しているときは、USB メモリーを本機から抜かないでください。USB メモリーおよび USB メモリーの記録ファイルが破損することがあります。
- 本機に USB メモリーを接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■ USB メモリー再生時に使用できるボタン

操作ボタン	機能
MODE	フォルダ再生モードの切り替え • “Folder” と “All” を切り替えます。
INFO	テキスト情報表示 • メディアに記録されているテキスト情報を表示します。
△ ▽ ◀ ▶	項目の選択
⏮、⏭	スキップサーチ (頭出し)
⏮、⏭ (長押し)	マニュアルサーチ (早戻し/早送り)
▶/⏸	再生/一時停止
■	停止
REPEAT	リピート再生 (p.46 ページ) • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生 (p.46 ページ)

■ 再生できるファイルについて

「USB メモリーの再生について」(p.62 ページ)をご覧ください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- ファイル名、曲名、アーティスト名、アルバム名およびファイル番号を切り替えて表示します。
- WAV ファイルを再生しているときは、ファイル名のみ表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
0123456789  
!"#$%&:;<>?@\[_`|}{~^'()*+,-./  
= (空白)
```

リピート再生をする

1 REPEAT を押す。

- 最初に現在のリピート再生モードをディスプレイに表示します。
- ボタンを押すたびに、リピート再生モードが切り替わりま

Repeat Off (リピートオフ):	リピート再生モードを解除します。
-------------------------	------------------

Repeat One (1 曲リピート):	再生中の曲をリピート再生します。
--------------------------	------------------

Repeat All (全曲リピート):	MODE で設定した再生範囲 (Folder/All) にあるすべての曲をリピート再生します。
-------------------------	---

ランダム再生をする

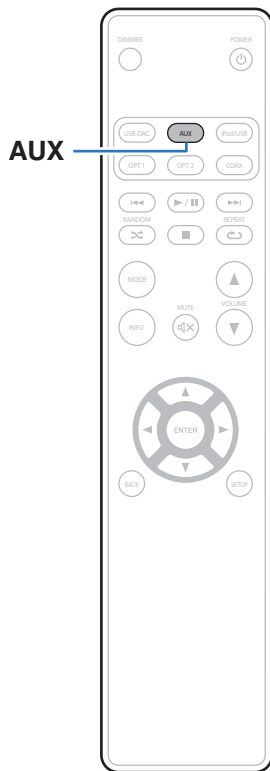
1 RANDOM を押す。

- 最初に現在のランダム再生モードをディスプレイに表示

Random Off (ランダムオフ):	ランダム再生モードを解除します。
-------------------------	------------------

Random On (ランダムオン):	MODE で設定した再生範囲 (Folder/All) にあるすべての曲をランダム再生します。
------------------------	---

AUX 端子に接続した機器を再生する



本機の AUX 端子にスマートフォンやポータブルプレーヤーを接続して、音声を再生することができます。

- 1 AUX を押して、入力ソースを“AUX” に切り替える。
- 2 本機の AUX 端子にスマートフォンやポータブルプレーヤーを接続する。(P.20 ページ)
- 3 本機に接続した機器を再生する。

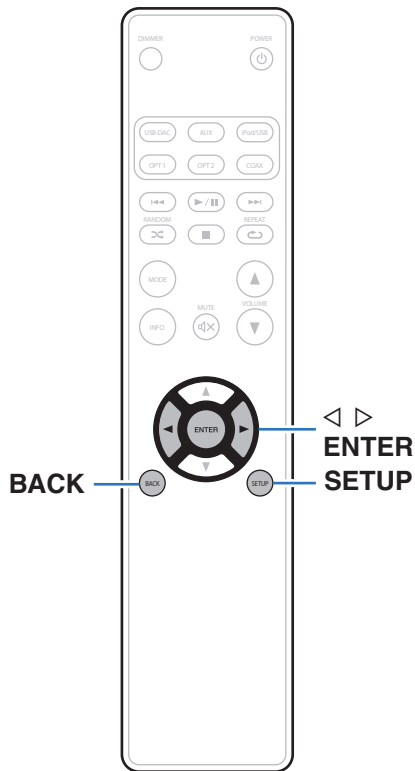
設定のしかた

メニュー 一覧

お買い上げ時の設定のままお使いいただくことをおすすめしますが、お好みにより設定してください。

設定項目	内 容	参照ページ
AMP Gain	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。	50
Dimmer*	ディスプレイの明るさを設定します。	50
iPodMode*	iPod の操作を本機でおこなうか iPod でおこなうかを設定します。	50
AutoStby (Auto Standby)	本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	51

* 本体の SETUP を押したときに表示されます。



メニューの操作のしかた

- 1 **SETUP** を押して、設定したいメニューを選ぶ。
SETUP を押すたびに、設定項目が切り替わります。
- 2 **◀▶** を押して、お好みの設定に変更する。
 - 本体の INPUT SELECTOR を回しても、設定を変更できません。
- 3 **SETUP** または **ENTER** を押して、通常表示に戻す。
 - 本体で設定したあとに 5 秒間操作しなかった場合、通常表示に戻ります。
 - 前の項目に戻るときは、BACK を押してください。

AMP Gain

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“Low”側に、高い場合は“High”側に設定することをおすすめします。

Low	ヘッドホンアンプのゲインを“Low”に設定し(お買い上げ時の設定): ます。
Mid:	ヘッドホンアンプのゲインを“Mid”に設定します。
High:	ヘッドホンアンプのゲインを“High”に設定します。

ご注意

“AMP Gain”の設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか、消音にしてからおこなってください。

Dimmer

ディスプレイの明るさを調節します。

Off:	ディスプレイを消灯します。
Dark:	暗くします。
Dim:	薄暗くします。
Bright (お買い上げ時の設定):	通常の明るさです。



リモコンの DIMMER を押しても、ディスプレイの明るさを調節できません。

iPodMode

iPod の操作を本機でおこなうか iPod でおこなうかを設定します。

Direct (お買い上げ時の設定):	iPod で操作します。
Remote:	本機およびリモコンで操作します。



リモコンの MODE を押しても、操作モードを切り替えることができます。

AutoStby

何も操作せずに停止した状態や入力信号がない状態が約 30 分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

On: 本機をオートスタンバイモードに設定します。

Off 本機をオートスタンバイモードに設定しませ
(お買い上げ時の設定): ン。



本機で iPod の充電中に本機の電源をスタンバイにしても、iPod の充電を続けます。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高品質で楽しみたい	53
特定のフォルダのみを再生したい	53
USB メモリー再生のレジューム情報を消去したい	53
現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい	52
WAV ファイルを再生したい	53
パワーアンプを接続時に音量を本機のボリュームで操作したい	53

■ 故障かな?と思ったら

電源が入らない/電源が切れる	54
リモコンで操作ができない	55
本機のディスプレイが表示されない	52
音がまったく出ない	52
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	52
パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない	57
デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)	57
iPod が再生できない	57
USB メモリーが再生できない	58
iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	59

こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(P.28 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- MODE ボタンを押して、再生モードを“Folder” に設定してください。(P.44 ページ)

USB メモリー再生のレジューム情報を消去したい

- 停止中に ■ を押してください。

現在再生している iPod の曲情報(曲名など)を本体のディスプレイに表示させたい

- MODE ボタンを押して、表示モードを Remote iPod モードに設定してください。(P.41 ページ)

WAV ファイルを再生したい

- 本機は USB メモリーに保存された WAV ファイルを再生できます。(P.43 ページ)

パワーアンプを接続時に、音量を本機のボリュームで操作したい

- パワーアンプを音声出力端子(VARIABLE)に接続してください。(P.17 ページ)

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	24
	• スタンバイモードになっています。本体の ⏻ ボタンを押すかリモコンの POWER ⏻ ボタンを押してください。	26
電源が自動的に切れる。	• オートスタンバイモードがオンになっています。オートスタンバイモードでは本機が停止状態でも何もしない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを無効にするには、メニューの “AutoStby” を “Off” に設定してください。	51

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	6
	• リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。	6
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	6
	• 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)が当たっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	—
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—
• リアパネルの EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。	23	

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。	28

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	16
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	—
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	—
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	—
	• アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	—
	• 適切な入力ソースが選択されているか確認してください。	27
	• 音量が最小になっています。音量レベルを適切に調節してください。	27
	• ミューティング(消音)モードを解除してください。	27
音量を上げると音声出力端子(VARIABLE)の音声が歪む。	• インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使うときは、“AMP Gain”を“Mid”または“High”に切り替えてください。	—
	• “AMP Gain”設定を“High”または“Mid”にしている場合、“Low”に切り替えてください。	50

■ 音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症状	原因 / 対策	関連ページ
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	• パソコンの曲の再生中は、プレーヤーソフト以外のアプリケーションを起動しないでください。	—

■ パソコン内や Mac 内の音楽ファイルが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
“Unlocked” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。 	37
“Unsupported” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” と表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。 	37
	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“HD-DAC1”のフォーマットが“192000.0Hz”以下に設定されているか、確認してください。 	—

■ デジタル機器の音声を再生できない(Coaxial/Optical)

症状	原因 / 対策	関連ページ
“Unlocked” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked” を表示します。 	38
“Unsupported” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。 	38

■ iPod が再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
iPod が接続できない。または“Error 5”が表示される。	<ul style="list-style-type: none"> USB 端子に iPod を接続してご使用になる場合、対応していない iPod があります。 	22
	<ul style="list-style-type: none"> iPod の接続に純正以外の USB ケーブルをご使用になると、iPod を認識できない場合があります。純正の USB ケーブルを使用してください。 	—

■ USB メモリーが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
"No USB Device"、 "Error 1" または "Error 2" と表示される。	• 接続不良などで、本機が USB メモリーを認識できない場合があります。USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。	21
	• マスストレージクラスの USB メモリーに対応しています。	—
	• USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは USB 端子に直接接続してください。	—
	• USB メモリーのフォーマットを FAT16 または FAT32 に設定してください。	—
	• すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続して使用してください。	—
USB メモリー内のファイルを表示しない。または、 "Error 3" と表示される。	• 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。	43
	• 本機が表示できるファイル構成は最大 8 階層、フォルダ数は最大 700 個、ファイル数は最大 65,535 個です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。	—
	• USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。	—
USB メモリー内のファイル を再生できない。	• 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。	43
	• 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。	—
	• 再生できないファイルは、"Error 5" を表示して次のファイルを再生します。	—

■ iPod や USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ファイル名が“...”など、正しく表示されない。	• 本機で表示できない文字は、“.”(ピリオド)に置き換えて表示します。	—

■ AUX 接続時に音が割れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
AUX 接続時に音が割れる。	• AUX 端子に接続している再生機器の音量を下げてください。	—

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼される時

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼される時

- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

USB メモリーの再生について

■ USB 対応ファイルシステム

FAT16 または FAT32

- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

■ タグ情報

ID3 タグ (Ver.1.x と 2.x)

WMA-TAG

AAC-TAG

(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

再生できるファイル(拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none">• サンプリング周波数: 32 / 44.1 / 48kHz• ビットレート: 32kbps~320kbps• ファイルフォーマット: MPEG1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none">• サンプリング周波数: 32 / 44.1 / 48kHz• ビットレート: 48kbps~320kbps• ファイルフォーマット: Windows Media Audio
AAC (.m4a)	<ul style="list-style-type: none">• サンプリング周波数: 32 / 44.1 / 48kHz• ビットレート: 64kbps~192kbps• ファイルフォーマット: Advanced Audio Codec
リニア PCM (.wav)	<ul style="list-style-type: none">• サンプリング周波数: 32 / 44.1 / 48kHz• ビット長: 16 ビット• ファイルフォーマット: リニア PCM

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数: 65,535

最大フォルダ数: 700

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

- USB メモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ…、を再生し、次に別の第一階層のフォルダ…、の順番に再生します。



パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。

ご注意

USB メモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。



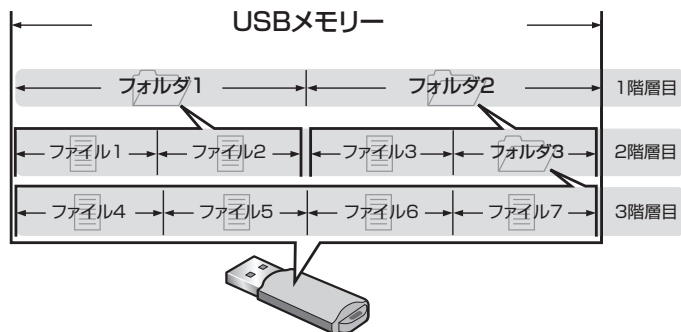
- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

ご注意

- 本機は MP3 プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などの USB 機器には対応していません。
- 本機は USB 機器の充電に対応していません。

フォルダとファイルについて

USB メモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。



メディアの取り扱いについて

- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

D/Aコンバーターについて

■ 再生できるファイルの仕様

□ USB-DAC

	サンプリング周波数	ビット長
DSD (2チャンネル)	2.8/5.6MHz	1ビット
リニアPCM (2チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/24ビット

□ Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニアPCM (2チャンネル)	32/44.1/48/64/ 88.2/96/176.4/ 192kHz	16/24ビット

用語の解説

DSD (Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。2.8224 MHz のサンプリングレートの単一ビット値の配列で構成されています。

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG (Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media[®] Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート(Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

リニア PCM

圧縮していない PCM(Pulse Code Modulation)信号です。CD の音声と同じ方式ですが、BD や DVD では 192kHz、96kHz、48kHz などのサンプリング周波数を用いており、CD よりも高音質の音声が楽しめます。

登録商標について



"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone, may affect wireless performance. iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle および iPod touch は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

主な仕様

■ オーディオ特性総合

• アナログ出力

チャンネル: 2チャンネル
再生周波数範囲: 2Hz~96kHz
再生周波数特性: 2Hz~50kHz (-3dB)
(DSD モード、PCM サンプリング周波数: 192kHz)
2Hz~20kHz
(PCM サンプリング周波数: 44.1kHz)

SN比: 110dB (可聴帯域)

ダイナミックレンジ: 106dB (DSD/192kHz) (可聴帯域)
101dB (44.1kHz)

高調波歪率: 0.0012% (1kHz, 可聴帯域)

アンバランス出力

- 固定時: 2.3V RMS (PCM)
1.7V RMS (DSD)
- 可変時: 2.3V RMS (PCM)(最大音量/Gain:Low)
1.7V RMS (DSD)(最大音量/Gain:Low)

ヘッドホン出力: 800mW/32Ω (最大音量)

- アナログ入力
入力感度/インピーダンス: 200mVrms/22k Ω
- デジタル入力
同軸出力(ピンジャック): 0.5Vp-p/75 Ω
光出力(角型光コネクタ): -27dBm 以上
USB (フロント): USB Type A (USB 2.0 Full speed)
USB (リア): USB タイプ B (USB 2.0 ハイスピード)

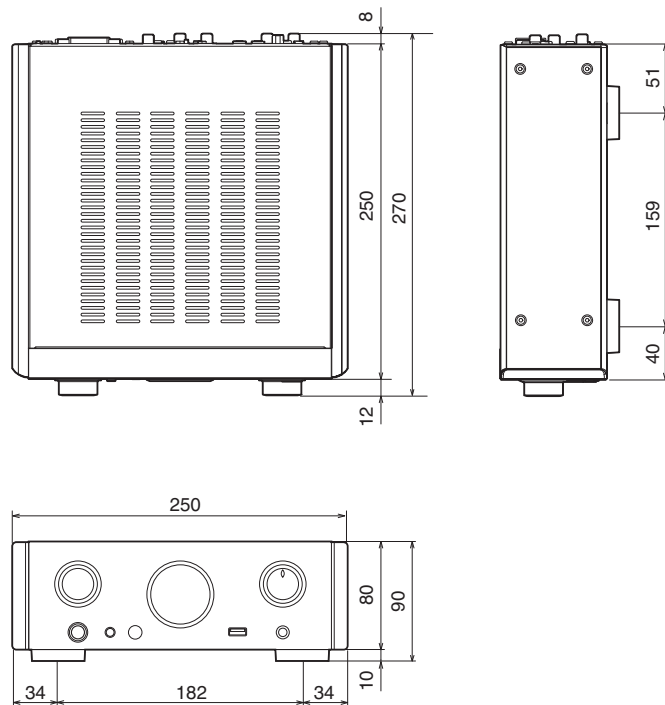
■ 総合

- 電源電圧/周波数: AC100V、50/60Hz
- 消費電力: 35W(電気用品安全法による)
- 待機時消費電力: 0.3W

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法

単位:mm



■ 質量 : 5kg

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

索引

🔍 D

D/A コンバーター機能 29, 65
DSD 65, 66

🔍 I

iPod の再生 39
iPod の充電 42
iPod の接続 21

🔍 M

MP3 43, 62, 66

🔍 U

USB-DAC 19, 29, 65
USB ケーブル 16, 19, 21
USB メモリーの再生 43
USB メモリーの接続 21

🔍 W

WAV 43, 62
WMA 43, 62, 66

🔍 あ

アンプの接続 17

🔍 お

オーディオケーブル 16, 17
オーディオ装置の確認(Mac OS Xのみ)
..... 36

🔍 か

乾電池の入れかた 6

🔍 さ

サンプリング周波数 62, 65, 66

🔍 す

ステレオミニプラグケーブル 20

🔍 せ

専用ドライバーソフトのインストール
(Windows OSのみ) 30

🔍 た

対応している iPod/iPhone 22

🔍 て

ディスプレイの明るさ 28
電源コードの接続 24
電源を入れる 26

🔍 と

同軸デジタルケーブル 16, 18

🔍 に

入力ソースを選ぶ 27

は

パソコンの接続 19

ひ

光伝送ケーブル 16, 18

ビットレート 62, 67

ふ

付属品 5

フロントパネル 9

め

メニュー一覧 48

ら

ランダム再生 42, 46

り

リアパネル 12

リピート再生 42, 46

リモートコントロール接続 23

リモートコントロール接続ケーブル 16, 23


リモコン 13






当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター


 **0570 (666) 112**


FAX : 044 (544) 3171

- 受付時間 9:30 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  **03 (3570) 5138**
〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<http://marantz.jp/jp/html/contact.html>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 **0570 (666) 112**

- 受付時間 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 17:30
(当社休日および祝日を除く、月~金曜日)
 - 上記番号がご利用いただけない場合  **03 (3570) 5138**
 - 故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。
<http://marantz.jp/jp/html/service.html>
 - 修理品お持ち込み窓口
 - ・首都圏サービスセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16
FAX : 0466 (86) 9533
 - ・関西サービスセンター
〒573-0094 大阪府枚方市南中振 3-2-7 三井倉庫ロジスティクスC棟 3F
FAX : 072 (802) 3226
- * ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in China 5411 11213 00AM